

特集 サマースクール 2016 in 信州レポート

～物事に主体的にかかわる力を育てる



8月17日から19日まで、小学生21名、中学生3名、高校生1名の合計25名の子どもたちと一緒に、夏の信州へ行ってきました。引率は、杉本久さん(群馬杉武館館長、愛称:すぎさん)、丸岡瑞季さん(マザーネット新入社員、愛称:みーちゃんまる)、上田理恵子(マザーネット代表)の3名です。



自然の家の入り口にて



1日目:キャンプファイヤーでは、火の起こし方を自分たちで考えて

- 8:10 大阪組、阪急梅田バスターミナルに集合。今回関西から初めて参加するのは、さくらろうくん(小4)です。
- 8:30 お母さんやお父さんたちに見送られて、アルペン伊那号が無事に出発。
- 9:00 東京組、バスタ新宿に集合。今回初めて参加するのは、ももこちゃん(小1)、ひすいちちゃん(小2)、はるかちゃん(小3)、なつこちゃん(小5)、ゆうまくん(中1)の5名です。
- 9:30 バスタ新宿駅を高速バスが出発。
- 11:30 大阪組、多賀SAに到着。お昼ごはんは、好きなものを注文します(中学生600円、小学生500円)。買い物の時間は約10分と限られているので、短時間で決断しないとイケません。初めて参加の子どもたちには、上級生がやさしくフォローします。



ようやく到着しました!

- 13:10 東京組、伊那市バスターミナルに到着。
- 15:10 大阪組、約1時間10分遅れで、伊那市バスターミナルに到着。東京からすでに到着していたメンバーと、久しぶりの対面です。自然の家のバスの運転手さんが、いつもやさしく迎えてくれます。
- 16:00 信州高遠青少年自然の家に到着。標高1218Mなので、とても涼しく感じます。大阪から約7時間半、東京から約6時間半、よくがんばりました!今回のお部屋は、一番奥のロッジの2棟です。
- 16:30 男子の部屋でオリエンテーション。自己紹介では、名前、住んでいるところ、学校名、学年、好きなスポーツと将来の夢を発表しました。将来の夢は、サッカー選手、デザイナー、保育士、ラーメン屋さん、モデル、キャビンアテンダント、医者、バイオリニスト、臨床心理士、ヘアメイク、裁判官など。みんなの夢が叶いますように。
- 17:00 体育館遊び。オリンピックの影響を受けてなのか、卓球が人気です。
- 18:00 夕食はバイキング。体調に合わせて選べるので、安心です。
- 19:00 森の広場で、キャンプファイヤー。マキの置き方や、火のつけ方、灯油のまき方など、子どもたちに考えてもらいました。そして、無事、火が良い感じに燃えました。火が終わりそうになったら、ホースで消火します。「消防士になったみたい!」と、消火活動は大人気。しかし、水をかけると、煙が立ち込め、「消防士さんって、こんな中を進んでいくなんで、すごい」という声。
- 20:10 入浴。この日はマザーネットだけの貸切ではないので、おとなしく入浴します。
- 21:30 低学年は就寝。高学年は、トランプやおしゃべりなど、低学年のじゃまをしないように過ごします。



自己紹介は輪になって



お菓子パーティーは人気



キャンプファイヤーは子どもたちで考えて



りんたろうくんは、タオルを巻いてすぎさんのマネ



2日目:好きな具材をアレンジして、オリジナルピザ作りに挑戦!

6:00 自然の家のチャイムが鳴りますが、まだみんな寝ているようです。

7:00 朝のつどい。りんたろうくん(小1)とひすいちゃん(小2)が、マザーネットを代表して、旗を上げてくれました。その後はラジオ体操。すぎさんが前に出て、見本をみせてくれます。

7:30 朝食はバイキングです。

8:30 自然の家をバスで出発し、溪流釣りへと向かいます。

8:45 毎年お世話になっている指導員の守屋さんに、竿の扱い方を教わります。竿が長いので、小さい子ども達が扱うのは大変ですが、一人一竿渡し、がんばってもらいます。餌はイクラをつけます。「うえださん、食べてもいい?」と毎回言われますが、「お魚さんのエサだからね!」と話します。「今日は水が少ないから、絶対に釣れない」と守屋さん。しかし、バスの運転手さんが、大きなアマゴをゲット!子どもたちは、なぜかイモリ釣りに夢中に...

10:30 溪流釣りが終了。

11:00 自然の家に戻り、石釜焼きピザ体験をスタート。

4つのグループに分かれ、まず最初にピザ生地を作ります。小麦粉にオリーブオイルを入れ、少しだけ水を入れて、耳たぶくらいのやわらかさに仕上げていきます。これが、子どもたちにはなかなか難しい作業です。水を入れ過ぎてしまうと、やわらかくなってしまいます。良い感じの固さになったら、人数分に分けて、ビニール袋に入れて生地を寝かせます。待っている間に、材料を切っていきます。包丁の扱い方だけを教えて、あとは自由な大きさに切ってもらいました。指導員の方からは「子どもたちに好きに切ってもらったら、上手に出来ないからだめ」と言われたのですが、「それも勉強なので、子どもたちに任せたいです」と話しましたが、なかなか納得してもらえません。材料は、ピーマン、玉ねぎ、ミニトマト、ベー



一人ずつ自分の竿を組み立てます



運転手さんが釣ったアマゴです



イモリ釣りに夢中!



半分にオリーブオイルを入れてこねます



生地をのばして

コン、ウインナー。フルーツピザ用に、リンゴ、バナナ、パイナップル。

チーズがさらいな子や、アレルギーの子もいるので、自分の食べられる具材を使って、生地をめん棒で伸ばした上に、自由にトッピングをしています。あまりたくさん盛り付けてしまうと、生っぽくなってしまいかも、とアドバイスしました。生地を星形にしている子も。2.5名、それぞれの個性が表れたピザが出来上がりました!薄くスライスしたリンゴが人気でした。



好きな具材をトッピング



オリジナルピザが焼けました!

16:00 希望者は体育館遊びです。

18:00 夕食はバイキング。

19:00 入浴。今日は貸切なので、水泳大会となりました。

19:30 天竜のお部屋で終わりの会。スクールで楽しかったこと、つらかったことを発表してもらいました。楽しかったことは、「おいしいピザが焼けた」、「枕投げ」、「キャンプファイヤー」、「トランプ」、「鬼ごっこ」などでした。つらかったことは、「木の根っこに当たって、こけたこと」、「大阪からのバスの到着が遅れたこと」、「ピザが上手に焼けなかったこと」、「枕投げで、枕が目当たったこと」、「カップラーメンがこぼれたこと」、「魚が釣れなかったこと」、「キャンプファイヤーで、水がかかったこと」などでした。発表を聞きながら、みんなで振り返り、笑いあっていました。その後は、すぎさんのマジック。

ク。どうだったかな?最後はビンゴゲーム。スクールで一番みんなが真剣になるところです。

22:00 低学年は就寝。高学年は、男子のリーダー室でトランプをする子も。大富豪は、何年たっても人気です。



すざいサーブ!



3日目:ブルーベリー狩りは、甘い実を求めて集中!

- 6:30 起床。誰も起きません・・・。
 7:00 朝のつどいは、昨夜の雨で地面が濡れているので中止です。
 7:20 朝食。
 8:00 部屋の清掃。みんなで手分けをして、部屋の中を片づけます。女子はとても手際が良いのですが、男子は大苦戦。わたるくん(小6)とはるきくん(中1)が、男子のゴミを最後まで片づけてくれました。
 9:00 退所点検。布団をたたむ向きなど、細かくチェックがあります。
 9:30 自然の家を出発し、みはらしファームへ。
 10:45 ブルーベリー狩り体験。おひさまが良くあたっているところが、甘い実とのこと。



女子はすぐに仲良しに!



ブルーベリー狩り体験の様子



暑い中、集中しました!

いろいろな木の実を取って、味を確かめます。200円の入れ物を買えば、おみやげにすることも出来ます。お母さんへのおみやげにおすすめでした。2年前のサマースクールで、ブラックベリー狩りをしましたが、ブルーベリーは初めて。実が小さいからか、何個でも食べられて、子どもたちは集中し、「もう終わりにしよう!」と声かけをしたぐらいです。

みはらしの湯に向かう途中、ミニトマトとピーマンを一人3個まで自由に取ってもいいところが、ここでも収穫体験が出来ました。

12:45 みはらしの湯に到着。温泉に先に入るか、昼食を先に食べるかを選ぶようにしました。温泉は、天気が良かったので、中央アルプスの山々がきれいに見えました。昼食は700円以内のメニューの中から、自由に選んでもらいました。茶そば、カレー、醤油ラーメン、まぐろ山かけと温泉たまごなど、組合せは自由です。



いきなり、ダチョウが出現



男子は枕投げをよくしたね

- 14:45 みはらしの湯をタクシー5台に分かれて出発。
 15:00 アップルランド伊那インター店で、夕食のお買いものゲーム。予算内で好きなものを選びます。真剣に頭を使うので、算数の勉強にもなります。小さい子には、お兄ちゃんやお姉ちゃんがやさしく教えてくれます。ごはんかパンなど主食を買えば、お菓子も選んでOKにしています。自分で買ったものを、最後まで忘れずに持つておくのも、勉強になります。
 16:00 伊那市バスターミナルに到着。
 16:15 大阪行きのバスが時間通りに出発。
 16:35 新宿行きのバスが出発。途中で、渋滞20キロの表示が。
 20:45 約1時間遅れで、バスタ新宿に到着
 22:10 約30分遅れで、阪急梅田バスターミナルに到着。また会おうね!



今度は冬い会いましょう!

スクールで、子どもたちに接する時に心がけていることは、決して教えようとしません。それぞれの子どもが興味を持っていることをしっかりと観察し、子どもと環境を結びつけるように援助するようにしています。低学年の子どもたちには、「うえださん、これやって!」と言われることが様々な場面であります。新しいペットボトルを開ける、少なくなってしまった歯磨き粉を絞り出す、など。そんな時、やってしまうのは簡単なのですが、「見ててね!」と言って、やり方を示すようにしています。子どもは自分で出来た時、自信にあふれた顔をしています。プログラムの中では、火を起す、火を消す、野菜を切る、というところで、危ないポイントを話し、後は任すようにしました。「えー、ホントに任しているの?。学校やったら、だめって言われる」との声も出ましたが、「任した!」と話す、責任を感じるのか、ふざけたりする子はいません。子ども達同志でよく話し合っ、行動していました。そんな時は、みんなの表情がいきいきしています。上手く出来なかったとしても、「今度はこうしよう」と話している子も。自分で考え、自分でやったことには、結果がどうなっても、満足しているように思いました。一人ひとりの子どもを観察し、その子が自信を持てるように、一つひとつの言葉にも配慮が必要だと、スクール引率14年目して、再認識しています(上田)。



次回の予定

2016年12月25日(日)～12月28日(水)の3泊4日で、ウインタースクールin信州2016を開催予定です。スキー・スノーボーは初めてのお子さんにもやさしくフォローします。ご予約、受け付けております。